



受章した吉野藤彦さんと妻の一江さん

吉野藤彦さんに旭日單光章

きよくじつたんこうしょう

令和元年秋の叙勲で、農事組合法人吉野牧場の吉野藤彦さん(赤谷)が農業振興功労で旭日單光章を受章されました。吉野さんは12月13日、農林水産省での伝達式に続き、妻の一江さんとともに皇居で天皇陛下に拝謁しました。

吉野さんは、高校卒業後、農林水産省の推薦でカナダへ農業研修生として派遣され、現地の大規模農場経営を体感。帰国後には農事組合法人を設立し、いち早く外国人研修生の受け入れを行うとともに、品質と効率のよい経営を追求・実践し大規模酪農経営を実現してこられました。また、こうした経験を県内外の農家にも積極的に広め、酪農の発展に貢献されました。

吉野さんは「妻や家族、従業員、そして共に協力しながらやってきた地域の方々に感謝しています。常に前を向き、農業を一生懸命やってきたことが認められたことをうれしく思います」と受章の喜びを語りました。

吉野さんは「妻や家族、従業員、そして共に協力しながらやってきた地域の方々に感謝しています。常に前を向き、農業を一生懸命やってきたことが認められたことをうれしく思います」と受章の喜びを語りました。

農業経営のリーダーに表彰状や認定証

農業のさらなる発展を目指している人や、地域の実践的リーダーを認定する、令和元年度群馬県農業経営士及び青年農業士認定書交付式等が11月15日、群馬県庁正庁の間で行われ、加藤定男さん(常木)が名誉農業経営士に、狩野和紀さん(永井上)が青年農業士の認定を受けました。

また、未来に向けて活力ある農業の取り組みを実践し、優れた成果をあげている青年農業者を讃える、第55回群馬県優



表彰された竹之内さん夫婦

良青年農業者表彰式が11月21日に同会場で行われ、竹之内智史さん・裕子さん夫婦(伏田)が表彰されました。



認定された狩野さん(左)と加藤さん

コープぐんまと

地域見守り活動の協定

村は12月20日、コープぐんま(中村隆夫理事長)と、地域見守り活動に関する協定の締結式を役場会議室で行いました。

この協定は、村内を巡回しているコープぐんまの配達車両が家庭で異変をみつけたら、村や救急など関係機関と素早く連携をとるなど、地域の見守りをさらに強化していくことを目的としたもの。堤村長は「この協定により緊密に情報交換させていただき、安心して暮らせる地域づくりをさらに進めたい」と語りました。



堤村長と中村理事長

民生・児童委員の新体制がスタート

任期満了に伴い、12月1日より新任10人を含む、新たな昭和村民生・児童委員27人(任期3年)体制がスタートしました。12月5日に開かれた初会議では、会長に布施廣一さん、副会長に須田善子さんと石井伸吉さんを選任。また、自立支援研究委員長に横坂孝志さん、子ども福祉研究委員長に飯塚英子さん、地域福祉研究委員長に加藤和美さんがそれぞれ就任しました。



中島 芳明
(藤井・宮貝戸)



堤 恵里子
(入原下)



堤 美佐子
(入原上)



藤井 常男
(永井下)



諸田 篤也
(永井上)



新木 邦江
(椽久保北部・三ツ谷)



須田 善子
(下宿・入沢)



加藤 英雄
(中組)



布施 廣一
(鎌沢・上組)



竹之内 俊昭
(根岸・伏田)



加藤 幸市
(上内出・南内出)



飯塚 英子
(中内出・常木・滝寺)



加藤 和美
(宿・中宿)



石井 伸吉
(吹張)



鈴木 光春
(椽久保南部)



伊藤 みどり
(長者久保・大河原)



横坂 るみ子
(中野)



木暮 利治
(生越)



毒島 ヨシミ
(池原)



反町 玲子
(滝久保)



横坂 孝志
(田岸・大堀)



萩原 寿子
主任児童員(東地区)



金井 千栄子
主任児童委員(南地区)



阿部 佐加恵
(松ノ木平第一・第二)



綿貫 佐知子
(赤城原第一・第二)



中澤 磨智子
(赤谷)



星野 かね子
(追分)



介護慰労金を受け取る家族

一年間の
在宅介護を労う

村は12月18日、寝たきりなどの高齢者を在宅介護している家族に介護慰労金を支給しました。

これは、毎年12月1日から翌年11月30日までの一年間、要介護度が4または5に相当する65歳以上の高齢者を継続して在宅介護している世帯に対して、家族の介護の労をねぎらい、在宅福祉の増進を図ることを目的に支給しているもの。

この日は堤村長が各家庭を訪れ、対象となった9世帯の家族に介護慰労金を手渡し、日頃の在宅介護を労いました。